

11月10日

京都一周トレイル⑦

藤村 敏幸

山名	京都一周トレイル⑦	山行名	11月例会
ルート	高雄～清滝～落合橋～鳥居本		
山行日	2019年11月10日(日)	天候	晴れ
参加者	CL藤村 SL赤松 女性：伊藤 伊庭 中井 河野 竹村 玉置 牧之瀬 今村 男性：西川 佐々木 永井 田中 合計14名		

	コースタイム			
	地名	時：分	地名	時：分
	榎ノ尾バス停発	9:20	ベンチで休憩後発	11:15
	神護寺参道前着	9:30	河原で昼食	12:00
	神護寺見学開始	9:50	昼食後出発	12:30
	神護寺参道前発	10:35	鳥居本着	13:35

今回は高雄からスタートなので紅葉が期待できると前から楽しみにしていたが、11月上旬は例年になく温かく駄目だと思った。ところが新田辺駅構内の紅葉便りでは、色つき始めと掲示されていた。JR 西日本バスの停留所に行くとき下見の時に比べやはり人が多く、バスに全員乗れるだろうかと不安になったが、幸いなことに高雄行きの臨時直行バスが運行され、混雑することなく席に座り出発できた。西山の峠を越えて山道に入り、どれだけ山が染まっているのかと、バスから辺りの景色を眺めるが、ほとんど色づきはなく、山行の楽しみが半減した。榎ノ尾のバス停留所で下車し西明寺前の広場まで行き体操をする。下見の時西明寺は自由に拝観できたが、今回は時節柄入口に受付が設けられていた。参加者が14名なので2班編成として隊列を組み出発する。高雄橋を渡り神護寺参道前で休憩する。参道前には数軒の店があり、早速数名が名物の饅頭や串団子を買って楽しんで食べていた。神護寺の参道が今日最大の登りであると話し、長く続く石段を登り境内に入る。神護寺には日本で2番目に国宝認定された釈迦如来像や源頼朝像等が金堂に安置されており、初めてこの寺を訪ねた参加者は堂内に上がり見学した。約30分程見学して楼門の手前で紅葉をバックに記念撮影した。神護寺からは清滝川沿いの水平な林道と杉並木の中を歩く。道の両側には、倒木したのか、又は間伐したのか杉が沢山放置されていた。楽しい歩行で話声や笑い声が聞こえていた。清滝川に架かる石橋を渡ると河原にベンチがありそこで小休憩する。そこから堂承川合流地点までは東海自然歩道の一部でよく整備された道で、途中で杉林から滝のように流れ落ちる小川もある。合流地点から清滝の鳥居までは舗装された水平林道で、景色を見ているうちに清滝に到着した。

渡猿橋の東側の日当たりのよい河原で昼食する。本来なら紅葉と清流に感動する場所であるが、今回は青葉ばかりで残念な昼食となる。清滝から落合までは少し起伏がある箇所が数カ所とコンクリートの護岸道で歩きやすくトレッキングには最適なコースである。川岸を歩いていくと、対向する女性があそこに珍しい川蟬が居ますと話してくれたので、眺めると川中の岩に青い鳥がおり撮ろうとするがすぐに飛び立ち写真に納めることができなかった。

落合からは、蛇行する緩やかな登り車道を約20分歩き六丁峠に到着し、その後嵐山高雄パークウェイの橋脚の下を潜り、竹林の中を歩き鳥居本に到着した。予定通り1時30分頃に到着して解散する。近くに化野念仏寺があり多くの参加者が拝観した。参加された皆さん、SLの赤松さん紅葉は期待外れでしたが、楽しい一日を過ごせてありがとうございました。

ヒヤリハット なし

約半世紀生きて、今まで「山に登る」など一瞬たりとも考えなかった私が、10月に山友会に入会

してしまいました。4月から登山教室に参加させていただき、山の道を歩いていると、石ころ、木、葉っぱ、空と、そして自分しかいない空間に「なんで今こんなにしんどい思いして歩いているんだろう…」と何度も頭をよぎります。でも日常に戻るとまた山に行きたくなり、次の申込みをしてしまうのです。きっと、それ以上の感動と楽しさと心の安らぎを、山を歩いていると感じられるからでしょう。

今回の京都トレイル⑦。この日はちょうど私の誕生日だったので「Birthday 登山」となりました。この日はまず高雄だんごの焼きたての美味しさに感動し、少し色づき始めた紅葉、溪流の美しさと流れる水の音に心癒され、山友会のおじ様方の紳士的な行動力に感謝しつつ…の一日でした。今回は平坦な道ばかりで登山というには物足りないらしいのですが、京都の観光名所巡りも楽しみ、解散してからは念仏寺でお墓参り？竹林の小径、嵐山ではもみじ祭りの賑わいに混じらせてもらい、舞妓さんも見られ、京都を存分に楽しみました。

さあ、次は京都トレイル⑧を申し込まなければ！

今村 仁美

